

北海道地区本部

第26回拡大執行委員会開催



菊池委員長

3月6日札幌市「T
K P札幌駅カンファレ
ンスセンター」において、第26回拡大執行委員会を開催しました。委員会は菊地委員長より「新型コロナウイルス感染症の拡大により、貨物会社も収入が伸び悩み、厳しい経営がより深刻となっている。これまでの経験則を超える状況だが、厳しい時こそ組織に結集し、で
きることを着実に積み重ね、未曾有の難局を克服していこう」とはじまり、その後、安全の確立、2021春闘、組織課題と選挙の取り組みについて挨拶がされました。

3月6日札幌市「T
K P札幌駅カンファレ
ンスセンター」において、第26回拡大執行委員会を開催しました。委員会は菊地委員長より「新型コロナウイルス感染症の拡大により、貨物会社も収入が伸び悩み、厳しい経営がより深刻となっている。これまでの経験則を超える状況だが、厳しい時こそ組織に結集し、で
きることを着実に積み重ね、未曾有の難局を克服していこう」とはじまり、その後、安全の確立、2021春闘、組織課題と選挙の取り組みについて挨拶がされました。



吉永事務局次長



「団結がんばろう」

組みと具体的行動を確認し、最後に菊地委員長の「団結がんばろう」で拡大執行委員会を終了しました。

また、第26回拡大執行委員会開催前にJR連合北海道地協主催で「安全の確立・2021春闘勝利・民主化闘争完成・2区補選・衆議院選挙闘争勝利」をスローガンに3・6全道総決起集会が開催されました。総決起集会は主催者を代表して吉永書記長（JR北労組）より、JR連合より、JR連合北海道地協の仲間と共に2021春闘を闘い抜く意思統一について⑤政治について挨拶がありました。その後、連合北海道・藤盛事務局長の来賓挨拶を受け、「JR二島等に対する支援策と法改正に向けた国会情勢」について①2021春闘の課題②安全の確立③民主化闘争の完遂④政策課題について⑤政治について挨拶がありました。そして、基調報告を菊地委員長（副議長）がおこない、決意表明では浦島副委員長が安全の確立と組織課題、貨物会社の状況、春闘の取り組みについて報告（事務局次長）が提案し、全体の拍手で確認されました。

拡大執行委員会参加者全員で参加し、JR連合北海道地協の仲間と共に2021春闘を闘い抜く意思統一を図つてきました。

